

平成29年度 第53回秋田県病院薬剤師会総会

5月20日（土）15時～ホテルサンルーラル大潟
秋田県病院薬剤師会総会（本館1階 「菜の花」）

秋田県立脳血管研究センター 齊藤伸先生 総合司会の挨拶

開会の辞	秋田県病院薬剤師会副会長	佐藤 博樹先生
会長挨拶	秋田県病院薬剤師会会長	南雲 徳昭先生
来賓祝辞	秋田県薬剤師会副会長	黒澤 光春先生
祝電披露	大館市立総合病院	小林 俊子先生
	日本病院薬剤師会会長	木平 健治様より
	秋田県薬剤師会会長	大越 英雄様より
	薬事新報社代表取締役社長	上山 誉晃様より
	秋田県病院薬剤師会顧問	山田 亮逸様より



議長選出 執行部よりかづの厚生病院 田口 勲先生を選出
議長挨拶 本会成立の宣言（会員合計351名：出席者88名委任状235名）
議事録署名人選出 議長より
秋田労災病院 島田いく子先生、北秋田市民病院 佐藤家恒先生を選出

議事

〈報告事項〉

(1) 第54回日本病院薬剤師会臨時総会報告

平成29年2月18日（土）13時30分より16時15分

（長井記念館地下ホールにて開催 金沢久男日病薬代議員が出席）

秋田県病院薬剤師会 日病薬代議員 金沢久男先生

議題

- 一. 協議事項〔平成29年度事業計画・予算（案）他〕
- 二. 報告事項〔平成30年度診療報酬改定への対応他〕
- 三. 質問事項〔ブロック代表質問等〕
- 四. その他

【主な報告事項】

1. 平成29年度一般社団法人日本病院薬剤師会事業計画（案）について
2. 平成30年度診療報酬改定要望事項について（たたき台）
3. 平成28年度病院薬剤部門の現状調査結果について
4. 医療安全に関する最近の話題について
5. ブロック代表質問について
6. その他について

(2) 平成28年度庶務報告ならびに生涯研修報告

○庶務報告

庶務委員長 後藤敏晴先生

- ・平成28年度会務報告、平成29年度の主な行事日程について
- ・寄贈会報誌の紹介
- ・薬剤管理指導料承認・届出施設38施設 H29. 3月現在、無菌製剤処理料承認・届出施設21施設（内調剤薬局1施設） H29. 3月現在、病棟薬剤業務実施加算届出施設11施設H29. 3月現在

○生涯研修報告

生涯研修委員長 柳田真樹子先生

- ・平成27年度認定申請書は5月28日現在138名（前年度158名）
- ・生涯研修履修認定証交付予定者（5年連続認定者）は5月20日現在25名
- ・昨年度の日病薬病院薬学認定薬剤師制度の秋田県病院薬剤師会認定研修会の開催件数は、46件

(3) 平成28年度決算報告ならびに会計監査報告

○決算報告会計委員長佐々木修先生

- ・予算額12,237,625円に対して決算額11,886,145円

収入の部では、

- ・会費は特別会員A18名を含んで91名、特別会員B10名で960,000円
- ・総会会費は予算より少なく934,000円
- ・三者協議会の参加費が懇親会参加者1万円（190名）、協議会のみ参加者2千円（3名）となり1,676,000円
- ・生涯研修事務費は166講座であったため3月31日現在で1,660,000円

支出の部では、

- ・日病薬負担金が335名で、2,864,000円
- ・総会費1,880,325円、役員会費512,000円と予算より少なかった
- ・三者協議会は幹事会を含めて、1,324,809円
- ・会報・名簿費は今年度県病薬会報代が持ち越しとなり、1,489,320円
- ・今年度より特別事業積立金を開始し、150,000円を特別会計に積立した
- ・秋田県病院薬剤師会財産目録の紹介
- ・特別会計積立金（北都銀行普通預金）1,607,780円
- ・特別事業積立金 300,000円他

○会計監査報告監事福岡英喜先生

現金出納台帳、領収書綴り、普通預金通帳、現金等について突合せを行ったところ、いずれも適正に処理されていたとの報告があった

*議長より決算報告ならびに会計監査報告について拍手にて承認を求められ、多数とみなし平成28年度決算報告ならびに会計監査報告は承認された

(4) その他

○薬剤業務委員会報告

薬剤業務委員長 平泉達哉先生

平成28年度秋田県病院薬剤師会 プレアポイド報告集計結果

- ・平成28年度に薬剤業務委員会へ報告されたプレアポイド件数は498件
昨年523件であり、今年度の報告件数は僅かに減少したが、一定の評価を得ている
- ・プレアポイド報告様式変更についてのお知らせ

○平成29年度病院実習調査結果についての報告会長 南雲徳昭先生

- ・平成28年度は38名受入れ、平成29年度はマッチングの結果36名を予定
平成30年度の調査では第1期25名、第2期35名、第3期21名となった

〈協議事項〉

(1) 平成29年度事業計画（案）ならびに平成29年度予算（案）

- 平成29年度事業計画（案） 会長 南雲徳昭先生

1. チーム医療における病棟業務・医療安全への取り組み
2. 専門・認定薬剤師養成事業の推進
3. 生涯教育・研修・学術活動の推進
4. 薬学実務実習教育の充実と受入施設確保への対応
5. 病院薬剤師と保険薬局薬剤師の連携（薬一薬連携）の推進
6. 組織体制及び運営の強化

○平成29年度予算（案） 会計委員長 佐々木修先生

- ・予算額11,609,157円、昨年度実績に基づき設定

収入の部では、

- ・総会は80名を見込み940,000円、三者協議会は165名を見込み1,650,000円
- ・生涯研修事務費は昨年度の実績から150講座を見込んでいる

支出の部では

- ・東北ブロック学術大会負担金が2万円増となり250,000円
- ・役員会費は昨年度から据え置き、委員会費、学術講演会費等実績に合わせて減額とした
- ・特別事業積立金は昨年度同様150,000円とした

*議長より平成29年度事業計画（案）ならびに予算（案）について拍手にて承認を求められ、多数とみなし平成29年度事業計画（案）ならびに予算（案）は承認された

(2) 平成29・30年度日本病院薬剤師会代議員及び補欠の代議員の選出について

選挙管理委員長 戸館輝人先生

- ・任期は平成29年7月1日から平成31年6月30日
- ・4月3日から4月17日の期間公示し立候補を募り、日本病院薬剤師会代議員に南雲徳昭先生が、補欠の代議員には三浦昌朋先生が立候補され、立候補者が定数のため、投票は行わず、正会員の決議により決定することに。

*議長より拍手にて承認を求められ、多数とみなし、日本病院薬剤師会代議員に南雲徳昭先生が、補欠の代議員には三浦昌朋先生が選出された。

(3) 次期開催地担当者挨拶中央地区担当副会長 三浦昌朋先生

(4) その他

開会の辞 秋田県病院薬剤師会副会長

三浦昌朋先生

表彰式16:00～

平成29年度秋田県病院薬剤師会プレアボイド優良事例報告
賞表彰式

受賞者 市立秋田総合病院 今野正樹先生



平成29年度秋田県病院薬剤師会優良発表賞表彰式

受賞者 秋田県脳血管研究センター 木元健寛先生



平成29年度秋田県病院薬剤師会学術奨励賞表彰式

受賞者 市立秋田総合病院 室田悠望先生
大館市立総合病院 鈴木 剛先生
秋田大学医学部付属病院 藤田一馬先生



平成29年度臨床薬学賞

受賞者 由利組合総合病院 遠藤征裕先生
秋田大学医学部附属病院 加賀谷英彰先生

平成28年度秋田県病院薬剤師会賞表彰式

受賞者 前秋田赤十字病院薬剤部長 七海泰彦先生
前かづの厚生病院薬剤長 田村 亘先生



学術講演会16：50～

座長：秋田県病院薬剤師会 会長 南雲徳昭先生

臨床薬学賞受賞講演1 由利組合総合病院 遠藤征裕先生
臨床薬学賞受賞講演2 秋田大学医学部附属病院 加賀谷英彰先生

特別講演『専門・認定薬剤師制度と薬学教育について～チーム医療における薬剤師の役割～』
千葉大学医学部附属病院 教授・薬剤部長 石井 伊都子先生



・専門・認定薬剤師制度について

日本病院薬剤師会専門薬剤師認定制度は、生涯研修履修認定薬剤師、認定薬剤師、専門薬剤師に分けられる。生涯研修履修認定薬剤師は、ジェネラリストとしての薬剤師に対する認定制度であり、日病薬生涯研修履修認定が現行実施されてきた。しかし、近年医療技術の進展とともに薬物療法が高度化しており、チーム医療の担い手

である薬剤師が主体的に薬物療法に参加することが求められてきた。そのため、日病薬は新たに病院・診療所で働く薬剤師の臨床現場における実践力（知識、技術、態度）の向上を目的とした病院薬剤師という特定分野・領域で特定領域認定制度を取得し、臨床での実践力を備えた薬剤師を養成するためにカリキュラムを設定し、研修内容の質を担保できる生涯研修認定制度を構築することとなった。そこで、現行制度である日病薬生涯履修認定は履修認定の目的が重複することから廃止し、特定領域認定制度が新に新設された。この特定領域認定制度の認定要件は、3年間で合計50単位以上取得することとある。さらに、条件があり各領域で2単位以上取得することが求められる。認定期間は3年間であり、認定後もさらに研鑽が必要となる。ただし、更新に関して審査料、受験料、認定料など未定なところも存在するため、日病薬のホームページで更新情報を確認することも必要である。

・薬学教育について

平成31年度より、改訂薬学教育モデル・コアカリキュラム（以下、改訂コアカリ）が開始される。医療人育成のために採用された新しいカリキュラム「学習成果基盤型教育（OBE）」につ

いてのご講演であった。アウトカムを提示し、どこまで達成したか確認しながら学習することとなる。従来の学習ではSBOを一つひとつ評価していた。この教育方法では何が出来ていて何が出来ていないかはっきりしていたが、その反面、何が目標か全体像が見えにくいという欠点もあった。それに対して改訂コアカリでは、目標に対するアウトカムがどの段階に属するのかを評価するものであり、卒業後どのようなレベルが要求されるか、学生自身がどのレベルに属するのかが明確であるというメリットがある。また、実習のスケジュールにも変更が加えられることになった。現行では5年次に22週間、調剤薬局と病院で実習を行っているが、調剤薬局から病院の順番で連続した2期で実習を行うことになる。またその中で代表的な8疾患に関わることになる。

懇親会および新入会員紹介（本館1階 「いちょうの間」）

19：00～ （参加者82名）（宿泊者72名）

司会 北秋田市民病院	高橋 幸先生
能代厚生医療センター	斉藤匡昭先生
挨拶 実行委員長 北秋田市民病院	佐藤博樹先生
乾杯 かづの厚生病院	戸舘輝人先生
新入会員 秋田大学医学部附属病院	殿村真弓先生 大川結子先生
秋田赤十字病院	島田茉侑先生 太田佳澄先生
中通総合病院	伊藤恵莉佳先生 佐々木龍介先生 加藤雄大先生
能代厚生医療センター	池野菜生子先生 佐藤葉子先生
かづの厚生病院	清水優衣先生
由利組合総合病院	大野謙太郎先生
大曲厚生医療センター	土肥安紀子先生
平鹿総合病院	佐藤美奈先生 青谷竜太先生
雄勝中央病院	今野武志先生 山川真未先生 菅野絢子先生
市立角館総合病院	加羽香澄先生

中締め20：45 能代厚生医療センター 木村正行先生

懇親会2次会（本館2階 「男鹿の間」）21：00～

お開き・解散23：00



学術講演会：シンポジウム

日時：平成29年5月21日（日）9：00～10：30

場所：ホテルサンルーラル大潟（本館1階 「菜の花」）（出席者：72名）

座長 秋田県病院薬剤師会副会長 佐藤博樹先生

テーマ「チーム医療における専門・認定薬剤師の役割」

シンポジスト

「栄養管理における薬剤師の役割とは」

大館市立扇田病院 NST専門療法士 齋藤正子先生

「妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師に出来ること」～認定薬剤師を生かした薬剤師業務～

秋田赤十字病院 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師 鎌田翔子先生

「周術期管理チーム薬剤師の役割と当院の取り組み」

秋田大学医学部付属病院 周術期管理チーム薬剤師 加藤正太郎先生

- ・小笠原先生からは、保険薬局に必要な情報を提供する目的で院外処方せんに臨床検査値を記載するという取り組みと地域薬局における疑義照会等への活用状況について。
- ・遠藤先生からは、がん医療という専門性の高い分野におけるアドピアランス向上に対する地域連携の重要性や具体的な取り組みについて。
- ・高橋先生からは、保険薬局の立場から連携への取り組みの現状・課題、特に薬薬連携を深めるために必要な情報が少なく十分に共有できていないという問題点について、それぞれ発表があった。
- ・総合討論では、それぞれの取り組みについての質疑が行われたが、お互いの立場をよく理解し持っている情報を共有していく重要性や、その情報を取扱う場合の注意事項等が活発に意見交換され、病院と薬局の薬剤師同士の顔の見える関係を構築する必要性が確認された。



記念撮影（11：00～）



解散